

県政報告 まなぶ日和

山梨県議会議員 永井 学

manabu biyori
Vol.6

●本会議での関連質問！
「本県の交通のあり方について」
●総務委員会での質問
行政評価制度について
●市川三郷町大塚地区の工業団地問題について
●この夏の活動を写真で振り返る



ごあいさつ

ガッツ山梨!永井学です。

「秋の議会」というイメージのある9月議会。しかし今年は夏日が収まらない大変暑い中で
の議会でした。議論の方も白熱!本会議での関連質問や総務委員会での発言なども行い
ました。この第6号には、そんな9月議会の様子とこの夏に行った様々な活動のご報告をさ
せていただいております。沢山の貴重な経験を糧に、また力強く前に進んで参ります。

山梨県議会議員 永井 学

まなぶ日和

永井学事務所 甲府市丸の内3-14-10
TEL055-227-1288 FAX055- 227-1280

永井学ホームページ
<http://nagai-manabu.jp/>



永井学ブログ
更新中!
ぜひご覧ください



甲府市地方卸売市場視察!



北富士演習場視察



北新保育所夏祭りに参加!



中道地区の草刈りお手伝い!



ボーイスカウト神社スカウト大会に参加



防災訓練にて



被災地二度目の視察



県内若手議員と富士登山!登頂に成功!



富士山周辺の廃棄物清掃に参加!



毎年恒例 荒川の河川清掃



山梨の良さを子供たちに!やまぼこ探検隊を実施!



北新地区夏祭りに綿菓子屋 出店!



天皇皇后両陛下をお出迎え!



県政報告会にて皆さんの声を伺いました!

いつも文章を書いていて悩むことがあります。あまり長くなりすぎず分かりやすい言葉で!第6号ではいかがでしたでしょうか?伝えたいことが沢山あります。30代の自分の目で見える県議会は、きっと皆さんが見て感じるものと同じであると思っています。またそうではなくてはなりません。自分が体験した様々なことを、これからこの「まなぶ日和」で皆さんにお届けしていきたいと思っています。

次は12月議会。冬の寒い議会で自分の熱い思いをおつけるため、この秋も沢山のものを吸収していきたいと思います!

編集

後記



本会議での 関連質問！

「本県の交通のあり方」について関連質問しました。

質問項目

PICK UP!
自転車の公共交通利用について

Q…この夏会派の県外視察において富山市を訪れたとき、コミュニティサイクルというのを見てきました。24時間好きな時に駐輪場から自転車を借り、市内に沢山ある違う駐輪場へ返す(会員登録

が必要)というシステムです。CO₂の削減にもなり、さらに中心市街地の活性化や回遊性の強化にもつながります。駅から中心市街地が中途半端な距離にある甲府市などにも非常に有用だと思われれますが、県のご所見を伺います。

A…(小池リニア交通局長)

自転車の公共的な利用は、市街地の活性化やCO₂の削減にとって非常に有意義であると考えております。しかし、その一方で市町村等が導入する際には、ニーズの有無や採算性、それから管理方法などの課題について、十分な検討が必要であるとされております。県では富山市をはじめとした先進事例について調査し、甲府市などに情報提供してまいりたいと考えております。

パークアンドバスライドの運用方法について

《永井の意見》

今回は関連質問でしたので各論を伺いました。リニアの開通が15年後に迫っている今、山梨県の公共交通を含めた交通政策を抜本的に見直し、部局横断で作る「山梨県総合交通大綱」のようなものが必要であると思います。



《総務委員会 永井の質問》

PICK UP!
①山梨県版事業仕分け「行政評価制度」について(一部抜粋)

Q…今回対象になった事業数と評価結果について

PICK UP!

A…35事業 結果については廃止が5事業、一部廃止が1事業、その他は要改善、現行どおり。



だくことになるので、何らかの形で報告させていただく。

《永井の意見》

今年で3年目を向かえる行政評価。3人のアドバイザーが県政の様々な事業を、廃止、一部廃止、要改善、現行通りの4つで仕分けされます。この結果はあくまでも提言であるとされながら、予算編成の2次評価に大きな影響があるとされ、毎年その結果が注目されています。その情報は県議会議員もしっかりと知っておく必要が当然あります。そんな観点で質問をさせていただきました。「何らかの形で報告させていただく」という回答をいただきました。概要版のような冊子を作成してほしいと要望させていただきました。

PICK UP!
②市川三郷町大塚地区の工業団地問題について(一部抜粋)

PICK UP!

Q…現在整地作業を行っているのは、相手企業が選定した会社だと伺っている。県側も誠意を見せつつ公社や県の人間が、しっかり作業現場に立ち会う必要があると考えるがいかがか？

A…県の公社の職員が立ち会っている。その都度、工法や工程の協議をしてできるだけ経費が抑えられるようにしている。

《永井の意見》

この工業団地の問題は、2つの側面を同時進行で見えていかなければならないと思っています。1つは「原因の究明」。どうして土地開発公社が販売した土地に産業廃棄物が埋まっていたのか？



まふ日和

Q…この評価の結果は事業予算見直し等にもつながる重要なもの。議会も承知しておく必要があると思うが、議会に対する公表はどのような形でされるのか？

A…評価結果を踏まえた事業の見直し内容については、予算審議などを通じて議論していた